

---

# かどた おの大暴投

うどん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

かどた おの大暴投

### 【NZコード】

NZ702Y

### 【作者名】

うじん

### 【あらすじ】

ある逸般（ワザとですよ）的な一人の中学生の物語

## プロローグ（前書き）

この小説はファイクションです。（以下略

さて、主人公は中学生という設定ですが、文中で中学生とは思えない行動をとったり、日本人として小学生でも有り得ない単語（日本語）の誤用をすることがあります。そこを突っ込むのは野暮というものですから、設定だと思って諦めてくださいね。

地の文での誤変換や単語の誤用は思う存分突っ込んでください。（笑）

## プロローグ

最初に言つておきますが、この小説はフィクションです。同一あるいは近似した個人名や組織名、ハンドルネーム、または小説の内容と同一あるいは似たような事件があつたとしても、この小説とは無関係です。

くれぐれも、小説と現実を混同しないようお願い致します。

### <人物紹介>

主人公：かどた お

国籍：たぶん日本

世代：ちゅーがくせい

オツムの出来：やや日本語が不自由

性格：都合の悪いことは無視、突っ込むと自分を棚に上げて逆ギレ

では、はじまりはじまり……

## 第一話 野望編（前書き）

繰り返しますが、架空の物語と現実を混同しないようお願い致します。

## 第一話 野望編

いつも通りのある日のこと、かどた おは考えた。

### 小説を書いつ

国語の成績はいいとは言えないけれど、アイデアは頭の中にまとまりつつある。

使い古されたご都合主義のように見えても、ぼくのかんがえたさいいこのかんどうストーリーだからな。ぶっちゃけ、ハンカチ無くしては読めないと断言できるね！

で、とつま出だしを書いてみた。自分で読んでも泣いちゃうレベルの、映画化必須の感動ストーリーだわ。これは前書きで注意をうながすべき。カキカキ

早いとこ誰かに読んでもらって、褒め称えて貰いたいものだな。女の子からファンレターとか貰つたらどうしよう。フヒヒ

まずは投稿しようつか。前から田をつけていた投稿サイト「なるう」と思った瞬間にお前はもう小説家なんだよー」という、妙に暑苦しい名前の、通称「なるう」に投稿して、世界を涙の海で溺れさせてやるぜー！

## 第一話 野望編（後書き）

日本語の不自由さ加減が表現できん……ムズいのうwwwムズいのうwww

## 第一話 覚醒編（前書き）

毎度のことながら

この小説はフィクションです。くれぐれも、小説と現実を混同しないようお願い致します。

## 第一話 覚醒編

いつも通りのある日のこと、かどた おは困惑していた。

閲覧数が上がらないのに、評価も増えない……なぜだつ！  
坊やだよ（「」）

いやいやいやいや、この話、自分探しとか悩んだり迷つたりしている人たちの道標にもなるし、読めば泣けてハンカチ消費パネはず！

俺の作品を読む

感動しすぎてハンカチが涙と鼻水まみれ  
洗濯するから水と洗剤を消費

華王喜ぶ

CM増量

負自テレビ喜ぶ

韓流番組増量

美人とイケメン見て日本全国みんな幸せ

すげえな自分！小説一つで日本中を幸せと感動の渦に叩き込んだよ！

うん、どう考へても自分に問題はないね。俺の作品を読まない奴が多すぎるのがいかん。あと、感動して泣いてるのにいい評価をつけない奴がいるのも問題。

ならびに……このままでは、俺のハーレム薔薇色の未来計画アツーはないよ作戦が計画倒れになつてしまつ！他の投稿者はどうしてるんだ……ん？ん？！

（）（）

作品「テンプレ転生勇者無敵チートぶらり異世界一人旅」の感想一覧

御前我 ゆうな サンの感想

一言：感想＆評価ありがとうございます。私もこちらの作品を読ませて頂き……

（）（）

これだ！

## 第一話 覚醒編（後書き）

この小説、諸君等も面白くないだらうが、私も少々面倒くさくなつてきた

## 第三話 禁断の果実編（前書き）

重ねて申し上げますが、小説と現実を混同しないようお願いいたします。

## 第三話 禁断の果実編

いつも通りのある日のこと。かどた おは興奮していた。

ねんがんのえつらんすうそつかのしゅだんをしてにいれたぞ！

「これは……」

感想を書いた投稿者が、お返しに感想と評価を貢つてる……？  
あることに気付いた瞬間、閃いた。つていうか全身に電気が走つ  
たね！俺つてば、なんでこんなに天才的なんだろ？

適當な小説を選ぶ

感想を書いて評価も入れておく  
何かしてくれた相手にはお礼をするはず  
むしろしなくてはならない。いや、しろ。人として。  
まあ俺の小説を読めば感想書かせてくださいくらいの勢いだろ？  
がな！

結論：相手は感想と評価貢えて大喜び、俺も感想と評価ゲットで  
嬉しい

感想書けばお返しが貰えるつてことは、だ。それは即ち、俺の作  
品が……俺の主人公が……いやむしろ俺自身が！ 世界に羽ばたく  
つ、絶好のチャンス……つ！

こんな素晴らしい方法……実行しないことこそが罪なのではある

マイ力?

「……ついに、俺の時代が来た！」

……はつ！ テンショノ上ガリすぎでちよつと理想郷が見えちゃつたわ。落ち着け自分。とりあえずパンツ履き替えてこよつ……

と、とりあえず！大事なことは、「誰かに感想とか評価つけたら、じつちの小説に感想と評価つけ返してくれる」ってことだつづ！これで俺の作品の閲覧数も評価ポイントもうなぎのぼり！……いいいやつほおおおう！ やっぱりテンションあがめあがめでいくぜー！

## 第三話 禁断の果実編（後書き）

とつあえず完結させるつもりでいきます。  
ご意見、ご指摘、ご質問、腋臭に関するご相談はメッセージまたは感想欄  
にてお願いします。念とか送られても受信できません。

#### 第四話 本気と書こうマジと読む編（漫書セ）

これがいつですが、リアルと小説を混同しないでお願いします。

## 第四話 本気と書くトマジと読む編

いつも通りのある日のこと、かどた おは検討していた。

チロルチョ「わめえ www…… もて、宣伝の場所と文章はどうか……

もとより、相手の作文（小説と呼んでいいのは俺の書いたものぐらいだろ♪）を全部読んだ上で感想を書くなんてことはしたくない。大事なのは「自分の小説に感想と評価。ポイントが入ることだ。効率つて大切だよね

だから、感想は少し変えれば使い回しできるような簡単なので…  
… ていうか一行でいいしよ。

んー、読まないでも書けるそれっぽい感想か…… よし、「主人公カツコイ」とか「短編（または長編）も書けそう」とか「先の展開が読めなくて面白い」くらいでいいや。

ああでも、感想だけだと、読解力（）の残念なヤツは俺の小説読みに来ないで「ありがちゅん」で済ませるかも知らん。感想と評価くれるよつにきちんと書いておこう…… よし、こんなもんかな？

／＼＼  
良い点

ヒロインのかあこに掘れそつです

一言

僕の小説

『河内弁の天使な兄貴』

も読んで見てください。感想と評価待つてます。

／＼＼

よしよし、感想はできたから、後は適当に変えつつバラまくだけだな！

人気の高いことだと、糞ウザい多量の感想に埋もれる可能性があるからな。あつという間に流されたら意味がない。

やつぱり感想のついてない3流ビックを中心攻勢かけつか。

フフン、見るよ。あつという間に5つも感想つけてやつたぜ。こいつらも嬉しかる？（ドヤッ）

それにしてもなんだな、タイトルだけ書いても、小説の面白さつていうか感動がまったく伝わらん……他にアピれる方法はないもんかなあ。

## 第四話 本氣と書こうマジと読む編（後書き）

「意見」「指摘」「感想はメッセージまたは感想欄にお願いします。なお、脱毛症あるいは育毛について」相談の方はスレにて支援を受けてみてください。

前にも申し上げました通り、念を送られても受け取れません。電波につきましては、受信設備はあるものの、受信状態が常に不安定であるため、つまく受信できないことがあります。  
悪しからず」と承ください。

## 第五話 無知は罪編（前書き）

いい加減飽きてきたかもしませんが、現実と小説を混同しないで  
ください、ヒミツカはミツカは……おや、宅配便かな？

## 第五話 無知は罪編

いつも通りのある日の「」と、かどた おは模索していた。

俺の小説を布教、もとい小説の魅力をアッピールできる場所があるはずだ……

ふむ、【感想を書く】のリンクの隣に、【レビューを書く】って  
のがあるな……レビュー? なにそれオイシいの?

……あ! 分かった! もしかして、レビューなんじゃね? 誤字つて  
んのかよ……つたくしょもない脣サイトだな。仮にも文章扱うサ  
イトが誤字放置すんなよなー。

「レビュー」を書く、つまり新しく投稿した小説を宣伝するための場  
所なんじやね? たぶん、俺みたいに宣伝したがる奴が要求したんだ  
ろうなーそういう場所を提供したことだけは評価してやんよ。

もうとにかくスンゲー小説で、人生の道しるべにもなる作品だか  
らハンカチ準備して読めよ、と。あと感想と評価。ポイントつて大切  
やん、と。なんか500字くらい書いちやつたけどいいよな?

よし投稿。みんな読みに来いよー。

おつと、早速感想に返信がついてるみたいだな。まあこの早さじゃ俺の作品は読んでなさそうだが、たぶん土下座する勢いで感謝されてるに違いないね。土下座する勢いで感謝されてるに違いないね！大事なことなのでもっと繰り返してもいいんだけど、まあこういうのは「ようしきび（どうへんかんしていいのかわからない）」らしいからな。2回で止めとくか。

どれどれ……なんて書かれてるのかな？

## 第五話 無知は罪編（後書き）

この小説を読んで便秘になつたとしても、それはたぶんこの小説以外に原因があると思うので苦情を持ち込むのは「遠慮ください」。

## 第六話 悪魔が来たりて第一の喇叭を吹き鳴らす編（前書き）

いつも通りに申し上げますが、小説と現実を混同しないでください。

## 第六話 悪魔が来たりて第一の喇叭を吹き鳴らす編

いつも通りのある日のこと、かどた おはイラついていた。

「こいつら……俺をdiisってやがるな？」

感想への返信1

「感想ありがとうございます。でも、感想欄で宣伝はしない方がいいと思う」

感想への返信2

「あなたの作品読ませていただきました。短編書くときの参考にしますね。ただ、宣伝はマズいと思います。前に同じ事やって叩かれた人知っていますんで」

感想への返信3

「感想ありがとうございました。更新頑張ります。しかし、感想欄での宣伝行為は規約に違反してるので、できれば削除してください。」

クソツッ！ 「こいつらウザーこと言ひやがって！ ちゃんと感想書いてんだから、ちょっとくらいイイじゃねーか！  
あー、ムカつくムカつく！ やる気なくすわー。もう、超やる気なくすわー。俺が更新しなくなったらコイツらの所為だな。間違いない。」

ま、でも俺ももう中学2年だし？ ガキみたく嫉妬丸出しでdiisにいつらと違つて大人だからね？ 抑えますよ自分でヤツをさ。

ムカつくから今日はもう寝よ……明日になつたら謝罪のメッセージとか励ましのメッセージとかが来てるはずだよ、きっと。俺は悪いことしてないんだから……。

## 第六話 悪魔が来たりて第一の喇叭を吹き鳴らす編（後書き）

すいませーん。ナポリタン替え玉お願ひします。あ、いえ。お代わりじゃなくて替え玉です。

……え？ 無理？ だってラーメン屋だとやつてくれますよ？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2702y/>

---

かどた おの大暴投

2011年11月20日09時35分発行